

たまりば

2017 年度 秋号
Communication
通信

◆ 発行日 2017 年10月 ◆ 発行 特定非営利活動法人フリースペースたまりば
〒213-0022 川崎市高津区千年435-10
TEL 044-833-7562
FAX 044-833-7534

<http://www.tamariba.org>
E-mail : freespace@tamariba.org

「あのとき」そして「いま」を語る



先日、えんに通っている中学生の男の子とこんなやり取りをしました。

「同じ学校のやつらが、オレが学校行ってないことイジっ

てくるんだよ。マジいらつく。」—「お前らは学校に行っているけど、おれはフリースペースに行っている。その何が悪いんだ、って言ってやればいいじゃん。」—「そんなこと言っても、学校行ってるあいづらには通用しねーよ…。」

「学校に行かない」ことを本人や親が受け入れたとしても、友人や世間の反応から、不登校であることによって肩身の狭い思いをしたり、学校に行かずに今後どうなるのか不安に感じたりする人も多いのではないかと思います。

学校に行っていない間のひと時をフリースペースえんで過ごし、現在はフリースペースを飛び立っていった若者がたくさんいます。彼らがえんに通っていた当時のことをどのように感じていて、今何を思うのかを、じっくり聞くことのできる機会がありました。一つは神奈川県内のフリースクールやフリースペースが一堂に会し開催されるフリフリフェスタ（9月9日（土））。現在大学院生で、この度就職が決まったオカヤンが語り、もう一つは、不登校の生徒等を対象に教育委員会と県内の高校・NPO が説明会と個別相談を行う不登校相談会（9月17日（日））で、現在大学生のケントが胸の内を明かしてくれました。

話の中で印象的だったのは、二人ともえんで大好きなこと

に打ち込んだ日々について語っていたことです。オカヤンは楽器について、ケントはサッカーについて。自分の興味のあることをとことん追求する時間を経て、二人は今新たに、自分のやりたいことを見つけてまい進しています。「楽器にのめりこんで、自分が集中して物事に取り組めることがわかった」と進学したオカヤン。「カッコイイと思う大人と出会った」と進路を決めたケント。僕には、彼らが学校に行っていなかった当時のことを胸を張って堂々と話しているように見えました。不登校時代をネガティブにとらえるような言葉や態度は全くなかったです。二人の話を会場にいた全員が食い入るように聞き、終了後彼らの正直で純粋な思いに大きな拍手を送りました。その場には、真剣に OB たちの話に耳を傾ける、今えんに通っている子どもたちの姿もありました。

学校に行っている友だちの間や世間では、まだまだ「不登校＝ダメなこと」という考えがあるのかもしれませんが、でも、不登校の時期を経てやりたいことにまい進している OB の話を聞くと、不登校がネガティブな経験だとはとても思えません。むしろ、それは彼らにとって必要だった、貴重な経験だったのだと強く感じます。フリースペースに通っている誰もが、当たり前にとらえられ「学校じゃなくてフリースペースに行ってるんだよ」って言えるような社会や自分であるように、まずはみんなと毎日を大切に過ごしていきたいなと思いました。

（しもん）



NPO法人
フリースペース
たまりば
って…？

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体（フリースペースえんを含む）の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

ハ丈だよ 2017！

この夏も 42 名の仲間たちと一緒に八丈島合宿に行ってきました。今年は、海のことをちゃんと知ろうと、事前に救命救急講座を受けてから出発しました。

合宿中も今日 1 日何をして過ごすかは自分で決めます。海で泳ぐ、牧場に行く、温泉、山登り、釣り、テントサイトでまったりなどなど。5 日間のキャンプ生活ではいろんな面白いことが起こります。ある日ご飯を作っている時、なかなか火が点かず困っていたら、現地の人から「海に流木を取りに行ったらいい」と教えてもらい、我こそはと立ち上がったメンバー数人。みんなで一生懸命流木を集めた後はそのまま海で水遊び！水着なんか着てないけど、なんだかそんな細かいことはどうでもよくなってしまうのが八丈島マジック!!腕いっぱい流木を持って帰ってきたら、もうすでにおいしいご飯が出来上がっていました♪

みんなが楽しみ、みんなの力でつくりあげる八丈島合宿。また来年が楽しみだな～★(マサ)

熱く楽しかった 夢パまつり

今年も夢パークの誕生日を祝う「夢パまつり」が 7 月 17 日(月)に行なわれました。

なんと今回は、夢パーク 14 周年&来場者数 100 万人突破記念!例年にも増してパワー全開。お天気にも恵まれ、えんのメンバーも泥と水にまみれ遊び回ったり、焼きそばを焼いたり、カレーライスを買ったり大活躍。全天候広場で行われた盆踊りでは、日ごろ、えんの講座でも練習している恋ダンスを披露。きれいに浴衣を着こなして優雅に踊る姿や、お面をつけてコミカルに踊る姿も見られました。

おまつりの飾りつけに工夫を凝らし、暑い中で焼きそばを焼きつけ、最後には泥だらけの夢パークをきれいにするなど、楽しみながら裏方もこなしていた、えんのメンバーの姿も目に焼き付いています。(もとお)



海外からの視察続々！

今年の夏は、海外からの視察が続きました。

APDEC(アジア・太平洋フリースクール大会)が、今年は東京で開催され、8 月 1 日から 5 日にかけて多くの基調講演やワークショップが行なわれる中、えんにもアジアを中心に諸外国から約 30 人の人達が訪れました。子どもたちの発案で、焼きそばやフォルクローレ演奏でおもてなしをしました。

また 9 月末には、ユニセフの「子どもにやさしいまちづくり(CFC)」が注目されている韓国から、11 自治体の首長と職員(約 50 人)も訪れ、夢パークの実践を視察しました。

夢パーク・フリースペースえんができてもう 14 年が経ちますが、今でも注目度が高く、国内外からたくさんの視察が続いています。子ども・若者の居場所がどんどん増えていくといいなあ。(ダイスケ)



平センとお宝さがし

「平センと泊まりでどこかに行きたい!」ずっと上がっていた声がついに実現!今回は縄文時代の人たちが包丁代わりとして使うために削った黒曜石を見つけに長野県の霧ヶ峰に行くことに。一日目は車山肩という山を歩き、生憎の雨だったものの、みんなで歌を歌ったりクイズ大会で盛り上がり...2 日目の黒曜石拾いは地面いっぱいの黒曜石にみんな大興奮で拾いまくる。加工された黒曜石を見つけたメンバーもいて、それを宝物のように持って帰っていました。

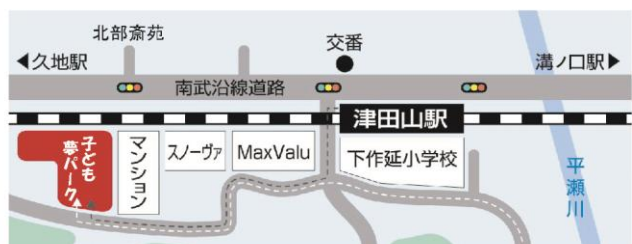
今回はなんと言っても山歩きをしながらあらゆる知識を平センがお話してくれるというなんとも贅沢な山歩き。いつもにぎやかな小学生男子が平センのまわりにまとわりついているのが微笑ましかったです。新しい発見や経験、楽しさがたくさんつまった一泊 2 日。たくさん準備してくれた平セン、お世話になったペンションのみなさま、たまりばのみんなで行けたことに感謝です。(あかり)



指定管理施設

『やってみたい』がいっぱいある場所です 川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>



ブリュッケ だより

～物づくりの現場で～

ブリュッケでは様々な会社定期的に訪問し、職場見学・体験をしています。



大波さん家族が経営する有限会社「相和シボリ工業」の工場には、今まで2回伺いました。体験させてもらったのは、丸いアルミの板を加工してコップにする作業。「アルミは柔らかいからコツを掴めばすぐできますよ」と大波さんに声をかけられ作業開始。丸いアルミの板を自動絞り機に設置し、中心が固定されると板が高速回転します。レバーで操作して、その板の外側を「ヘラ（球体）」で押しつけると、少しずつコップのような形に。気の抜けない作業に、息を止めて打ち込みます。慎重に進めていく人、思いっきりのいい人、それぞれのやり方で挑戦。未知なる体験でしたが、一人一人、大きさも形も違うオリジナルコップを完成させました。代表の大波忠さんは、2011年に川崎市から「かわさきマイスター（極めて優れた物づくり職人に贈られる称号）」に認定されました。どんな硬い金属も加工してしまうそうです。物づくりに真剣に取り組む現場の空気を、ほんの少し感じさせてもらいました。（さとう）



HAPPY えんぶりデイ

★今えんに孫たちが通っている、たまりばとは長一い付き合いのせい子さんは、お彼岸におはぎをみんなに作ってくれます。9月のバースデーパーティーの日に、中学生のほんちゃん・ネギ・コハルも一緒に、ボリューム満点のおはぎをたくさん作りました。「お彼岸」の意味を知ってから味わう美味しいおはぎにみんな大満足。「バースデー」と「お彼岸」。これって幸せないのちのコラボ??（ハイホー）

★夢パまつりやフェスティバルなど、ここでは着物を着る機会がたくさん。一人で着られるようになったらステキだねという声が上がリ、えんでいつもお茶を教えている吉田さんに着付けを習うことになりました。なんにもわからなくても、着物を着てみたいという気持ちがあれば大丈夫。やってみたい人はこの指とまれ！（たかこ）

★えんに来るなり「ごろり集合ー!」と何やら毎日やっていた女の子たちがこの間、練習していた歌とダンスを披露してくれた。次回フェスティバルの出し物だそう。とにかく可愛くて、みんな釘付けになること間違いなし！今年結成した女性バンドグループも作戦会議を始めたよ。やっぱりみんなにとってフェスティバルは大舞台なのだ。（あかり）

西さんのつぶやき



神奈川県公式のインターネット放送局「かなチャン TV」に、僕のメッセージ動画「今、学校に行きづらいあなたへ」がアップされてからわずか1か月あまりの間に、再生回数は12600回を超えている。すごい反響だ。YouTube で、簡単に見ることができる。この中で紹介しているのが、昨年9月に文部科学省の初等中等教育局長が出した通知「不登校児童生徒への支援の在り方について」である。「不登校を問題行動と判断してはならない」「不登校児童生徒が悪いという根強い偏見を払拭し…」などの文言が並ぶ。

通知から1年経つのに各学校にはこの内容が伝えられず、どうも教育委員会で止まっているという話が近ごろ、近隣の自治体関係者から聞こえてきている。「こんな通知を教育現場におろしてはいけない」「不登校は悪いに決まっている」と息巻く職員の声が届いてきたのだ。ひどいことだ。神奈川県では10年以上前から学校・フリースクール等連携協議会を立ち上げ、教育委員会関係者と NPO が対話を重ねてきた。この動画も、県知事室が作成したもので、県は積極的にこの通知の内容を広めようと努力している。自治体によって大きなバラツキがあるのが現状だが、当事者にとっては深刻な問題である。

この30年間に、不登校は「悪いこと」「ダメなこと」と追いつめられ、休むこともできず命を絶ってしまった子どもたちに、何人出会ってきたことだろう。外に出ることもできなくなり、ひきこもって苦しんでいる人もたくさんいる。

先日 NHK の「あさイチ」に生出演した時に、イチタのことを紹介した。学校に行かなかった時期、ほぼ毎日釣りをして過ごした彼は、釣った魚をさばくうち、いつの間にか包丁の使い方がうまくなり、厨房の仕事につながり、今は大手飲食店の店長になって活躍している。「不登校はダメなこと」という偏見を外すには、当事者の声を聴くのが最も有効なのではないかと思っている。神奈川県では、不登校・ひきこもりを経験した子どもや保護者の声を聴く座談会を、公民連携で粘り強く続けてきた。これが教育委員会や先生たちの考え方に変化をもたらした大きな要因ではないだろうか。

迷い、揺れ、もがきながらも、「だいじょうぶ」のまなざしを持ったおとなとともに生きた時間。「あの時があったから、今がある」。当事者の思いを言葉に、そして力にかけて、多くの人に届けたい。

（西野博之）



川崎若者就労自立支援センター
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人がつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら…。

*ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～29歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

インフォメーション

★詳しくは事務局まで★

夢パーク こどもゆめ横丁 2017

11月5日(日)11:00~15:00(18:00 閉所)

☆いつもの夢パークの広場に子どもたち自身が考えつくった“街”が出現！お店も商品も全部手作り♪この“街”は子どもたちが主役です。子どもたちの工夫が詰まった1日だけの街を楽しもう！

※6日(月)臨時施設点検日のため夢パークはお休みです。

※7日(火)「えん」はこどもゆめ横丁の代休です。

李政美さんのお話とコンサート

11月20日(月)14:00~16:00 ※先着50名

コリアン2世で歌手の李政美さんをお招きし、お話と歌を聞きます。国や人権、文化などの「違い」や、音楽に込められた「想い」などを知り、いのちや人権について考えよう。

夢パーク クリスマスイベント

12月23日(土・祝)

☆今年も楽しいクリスマス企画を計画中！冬の夢パークで遊ぼう！

<★イベント出店★・♪演奏♪>

★雑居まつり 10月9日(日)世田谷区・羽根木公園

♪白梅学園祭 10月21日(土)小平市・白梅学園大学

フリースペースって、どんなところ？

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第4回 10月21日(土) 10:00~12:00

第5回 12月9日(土) 10:00~12:00

(原則として、各回とも同じ内容です)

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方
会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
資料代 500円 <要予約・先着20人まで>
申込み 第4回 9月4日、第5回 11月1日、ともに10:30から受付開始

ご支援いただきありがとうございます (2017.6.18~2017.9.30)

NPO 法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。
(敬称略・順不同。希望されない方は掲載していません。
なお、掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。)

川崎橋ライオンズクラブ、グループわたぼうし、小林静子、倉方洋行・真紀子、清水善幸、石川富士子、齋木麻衣子、奥出夏海、佐藤陽子・創楽、田老伸匡、竹内昭・太郎、中村公一、石橋充行・大吉、興水典久、宮崎芳正、新田学、柏倉敏和、後藤みしお、矢崎美穂子、宇井新・のどか、藤井景子、村岡美和子、梅田美穂、柳橋小夜子、岩出孝洋、佐藤研二・真理、山本将也、廣渡明子、佐々木とも、栗原崇、山下芳織、藤田友子、新居千文、古川富美路、神田真那、赤野彩希、長谷川靖子、坪滝治郎、木内英紀、山田恵理子、松山朋子、大田祈子、遠山和輝・雄公、住政二郎、三田恭一・知美、平林夏子、田中眞由美、中西拓子、谷藤律子、加藤裕子、岡安花子、渥美賢多郎、服部起代子、松崎良子、小柳則子、佐藤三智子、山下美智代、かき氷チーム、国際魅力学会会長・マダム路子、和創美代表・林良江

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です！

振込先→郵便振替口座 002002-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

※郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

※他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は↓(支店名を「セ」で検索してください) ※

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562 (光富)



オーガニックカフェ

TEL/FAX 044-813-5248

南武線久地駅下車徒歩2分
川崎市多摩区宿河原6-26-24 フジビル1F

